



Shiga Smart Access 自動運転チャレンジ事業 自動運転バスの実証運行を開始します！

滋賀県では、社会情勢の変化に対応した持続可能な地域交通ネットワークの維持・活性化のため、滋賀地域交通ビジョンを策定し取組を進めています。その取組の1つとして、公共交通の活性化、まちのにぎわい創出などを目指し、自動運転バスの実用化に向けて取り組んでいます。

令和8年1月31日(土)より、彦根市において、初の実証運行を開始します。

概要

「彦根市彦根城ルート」において、自動運転バスの実証運行を行います。

2月2日(月)から2月16日(月)までの一般運行期間は、県民の皆さんや来訪者の皆さんにご利用いただくことが可能です。

(1)事業概要

- 事業主体：滋賀県
- 運行：Shiga Smart Access 自動運転チャレンジ事業に係るコンソーシアム
(NTT 西日本株式会社、NTTビジネスソリューションズ株式会社)、株式会社マクニカ
- 実証内容：レベル4の実現を目指し、本事業ではレベル2での実証運行を実施
- 運行エリア：彦根市彦根城ルート
- 実証期間：令和8年1月31日(土)から2月16日(月)まで 17日間
※ 1月31日(土)、2月1日(日)については、関係者試乗のみ
※ 一般運行は2月2日(月)から2月16日(月)まで
- 使用車両：自動運転EVバス NAVYA 社製「EVO3」
-実証運行における乗車定員9人
-速度18km/h未満

(2)一般運行

- 実施期間：令和8年2月2日(月)から2月16日(月)まで
- 運行ダイヤ：9時台～16時台、平日9便、休日11便
- 乗車予約：予約アプリ「バスきて」による予約が可能
※ 予約なしでも、若干の当日乗車枠があります
- 予約開始日：令和8年1月26日(月)
- 運賃：無料



図 1.走行する自動運転バス車両

役割

- | | |
|-----------------------|---|
| ・ 滋賀県 | :事業主体 |
| ・ 彦根市 | :実証・実装フィールドの調整・提供、関係者調整等協力 |
| ・ NTT 西日本(株) | :実証事業統括、アンケート調査 等 |
| ・ NTT ビジネスソリューションズ(株) | :自動運転導入エンジニアリング |
| ・ (株)マクニカ | :自動運転導入エンジニアリング(車両)及びサポート、
自動運転バスの遠隔監視 等 |

背景・目的

滋賀県では、社会情勢の変化に対応した持続可能な地域交通ネットワークの維持・活性化のため、滋賀地域交通ビジョンを策定し取組を進めています。多様な移動ニーズに既存の公共交通だけで応えていくことは困難であり、厳しさを増しているバスの運転士不足への対応など、自動運転の実現は本県の地域交通の維持・活性化のために重要と考えています。

このため、県内での実用化に向け、令和6年度に調査を実施し、モデル事例として、世界遺産登録を目指す彦根城の周辺エリアを選定しました。

デスティネーションキャンペーンをターゲットに、ウォーカブルなまちのシンボルとなる「楽しく、グリーンな移動手段」として活用し、公共交通全体の活性化やまちの魅力向上等につながるよう、彦根市と連携して、技術の高度化、社会受容の向上を図りながら、実証運行を進めていきたいと考えています。

実証運行を通じて、自動運転の効果や公共交通を軸としたまちづくりの魅力を示し、地域交通の課題を解決する手段として可能性を検証し、県内各地での新たなモビリティ導入に向けた取組につなげてまいりたいと考えています。

今後の展開

本実証運行結果を踏まえ、自動運転レベル 4 の社会実装の実現に必要な課題、対処策の抽出を行い、次年度以降も実証運行を積み重ね、自動運転レベル 4 の社会実装を目指してまいります。

また、公共交通の利用促進、観光やまちの賑わい創出等の新たな需要の喚起に向けた地域交通ネットワークにおける自動運転の活用可能性について検証していきます。